

☆食料問題 2015年埼玉県立伊奈学園中学校

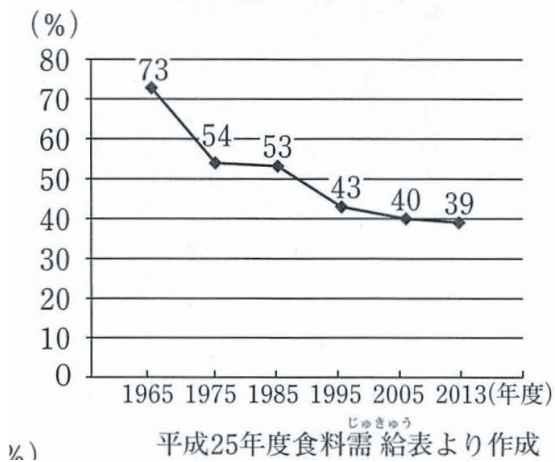
資料4と資料5はそれぞれ「食料自給率の移り変わり」と「日本人一人あたりの食料消費の内訳の変化」です。

資料4から読み取れる変化を20字以内で、資料5から読み取れる変化を40字以内で書きましょう。

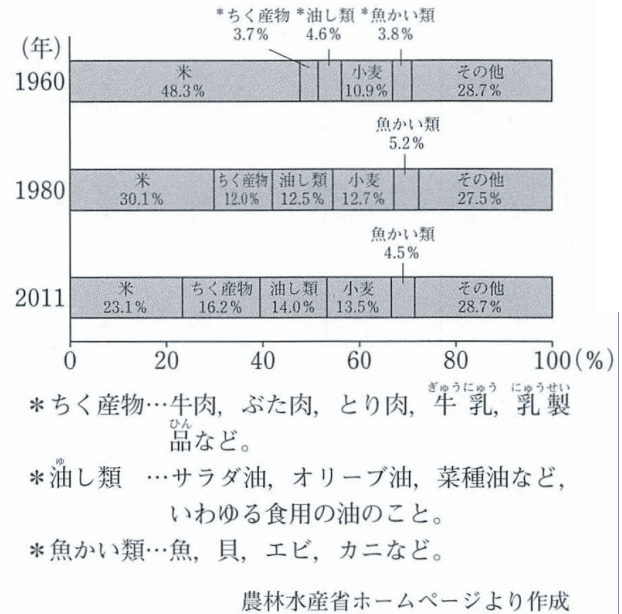
近年、地産地消の取り組みが盛んに行われています。

地産地消とはどのような取り組みか、書きましょう。

資料4 食料自給率の移り変わり



資料5 日本人一人あたりの食料消費の内訳の変化



解答

「公立中高一貫校 適性検査」の受検を考えている親御さんは **コチラ** をご覧ください。

～中略～

みゆき：食生活が変わったことで、①「日本国内の食料の生産量やわたしたちが食べる量もずいぶん変わったのかな。」

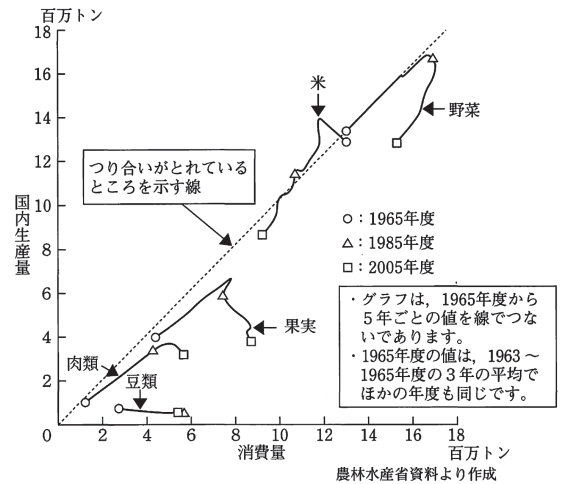
～中略～

下線部①について、[資料2]は、日本の米、野菜、果実、肉類、豆類の五つの食料品の国内生産量と消費量を示したものです。たかしさんは、この資料からわかることについて、次の文章にまとめました。この文章中の(A)、(B)に当てはまるものを、[資料2]の中の五つの食料品から一つずつ選んで答えなさい。

(A)は、1985年度の消費量が1965年度の2倍以上に増える一方で、国内生産量が減少しており、国内生産量と消費量のつり合いが大きくくずれた状態が続いている。

(B)は、この期間全体を見ると、国内生産量と消費量のいずれも減少しており、生産量と消費量がほぼつり合いがとれた形で移り変わっている。

【資料2】 食料品の国内生産量と消費量の変化(1965～2005年度)



解答

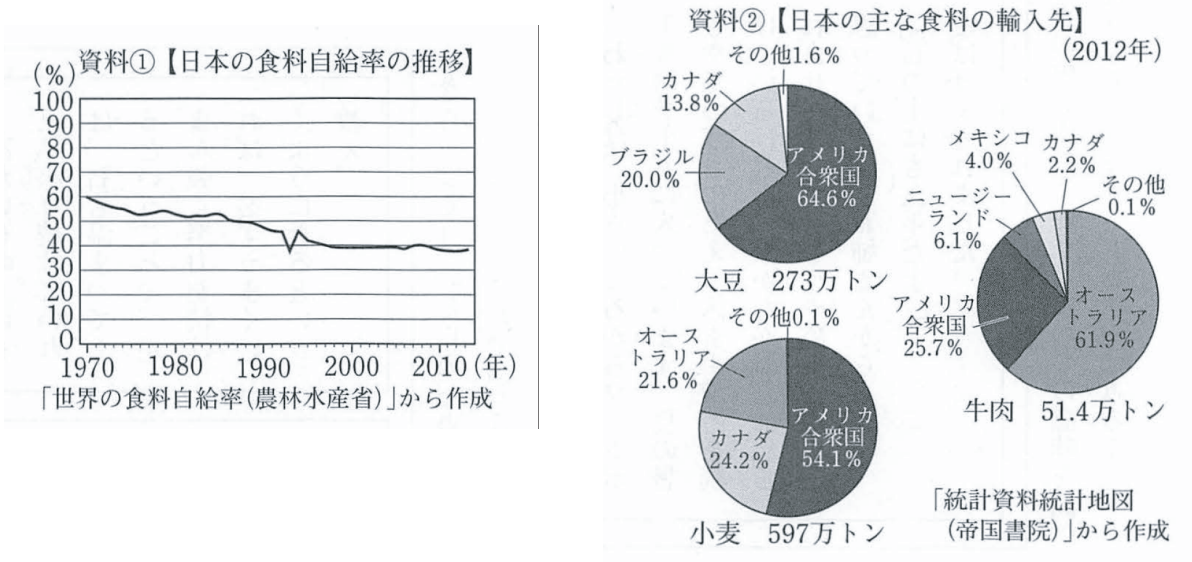
☆食料問題 2015年 和歌山県立向陽中学校

「日本の食料生産」について考えよう。

あきらさんとみどりさんは、「日本の食料生産」について考えています。

あきら：ぼくは、「日本の食料生産」に関する資料を二つ見つけたよ。

みどり：あきらさんが見つけた資料①と②から、「日本の食料生産」の課題がわかるわね。



課題1 資料①と②からわかることを読み取り,それらに関連づけて,「日本の食料生産」の課題について書いてみよう。

解答

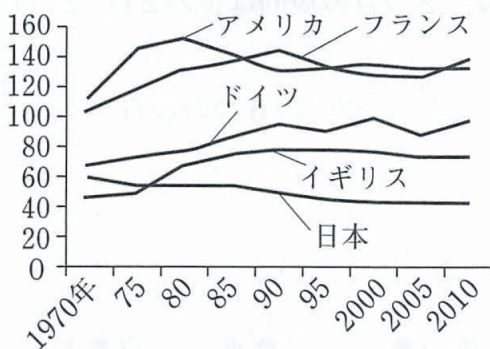
☆食料問題 2015年 広島市立広島中等教育学校

[問題]

次の資料1からわかるように、日本の食料自給率が約40%まで下がっており、今や日本は世界最大の食料輸入国となっています。

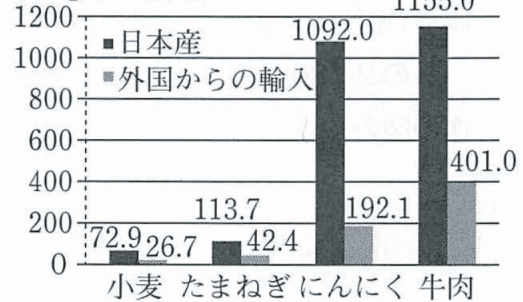
このように、日本の食料自給率が低下している理由を次の資料2・資料3を関連づけて説明しなさい。

資料1 おもな国の食料自給率の変化



(農林水産省ホームページ「食料自給表(平成25年度)」より作成)

資料2 日本産の価格と外国産の価格 (1kgあたり円)



[2010年/農業物価統計調査ほか]
(東京書籍「新しい社会5上」より作成)

資料3 アメリカと日本の農業の比較

		農業従事者数 (万人)	農家一人あたりの 農地面積 (ha)	穀物生産量 (万 t)
日本	1987年	461	0.9	1,453
	2010年	142	3.2	935
アメリカ	1987年	314	59.8	27,912
	2010年	251	163.8	38,679

(正進社「公民の資料」より)

解答

はるなさんとたかしさんは、給食について話をしています。次の会話文を読んで、各問いに答えなさい。

はるな「熊本県の多くの小中学校の給食では、毎月19日を『ふるさとくまさんデー』として、県内でとれた食材を使っているよね。」

たかし「地元の野菜を使った郷土料理などがあって、いつも楽しみなんだ。」

はるな「地元でとれた食材を地元で消費することを『地産地消』と言うのよ。」

たかし「給食では、どれくらいの割合で県内でとれた食材が使われているのかな。」

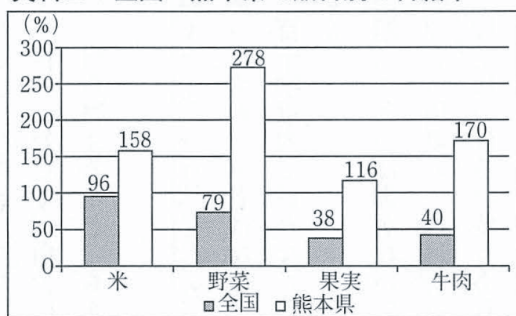
給食における地産地消の取組に興味をもった二人は、資料1、資料2、資料3を見つけました。

資料1 熊本県内でとれた食材の給食における使用割合

県名	年度					
	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24
熊本県	38.7%	43.4%	47.4%	46.1%	46.8%	50.0%
全国平均	23.3%	23.4%	26.1%	25.0%	25.7%	25.1%

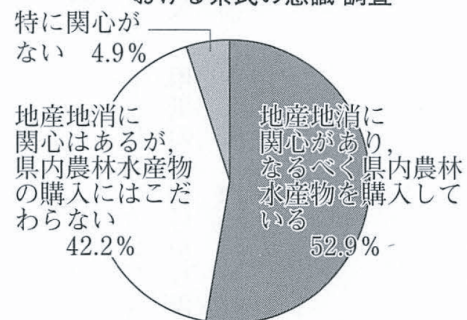
(文部科学省・熊本県体育保健課「学校給食における地場産物活用率」H25より作成)

資料2 全国・熊本県の品目別の自給率



(農林水産省「食料需給表」H23より作成)

資料3 熊本県でとれた食材の消費における県民の意識調査



(熊本県企画課「県民生活に関する意識調査」H25より作成)

問題1

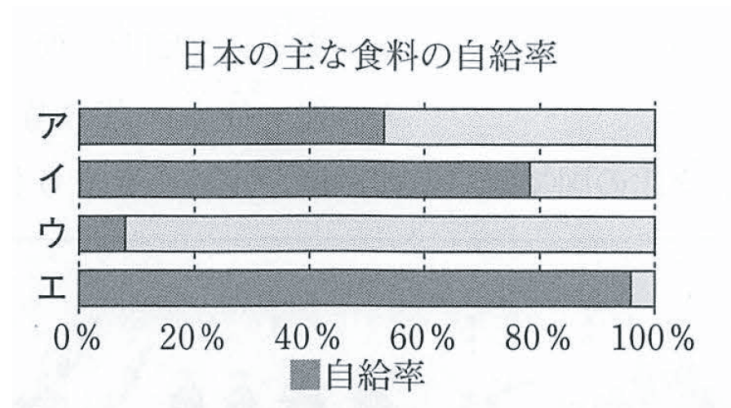
(1) 資料1、資料2、資料3から分かることとして適当なものを、次のア～オから2つ選び、記号で答えなさい。

- ア 熊本県内でとれた食材の給食における使用割合は、全国平均と比べ、その差が年々小さくなってきている。
- イ 熊本県は、全国に比べ米や野菜の自給率が高く、地産地消に関心を持って県内農林水産物を購入している人が約5割をしめている。
- ウ 熊本県は、米や野菜の自給率が100%をこえており、近年は、給食の食材の約半分を県内でとれた食材がしめている。
- エ 熊本県民は、地産地消に関心が高いものの、給食においては、県内でとれた食材の使用割合が全国に比べ低くなっている。
- オ 熊本県は、全国に比べ米や野菜、果実の自給率は高いが、牛肉の自給率は低くなっている。

(2) 地元でとれた食材を地元で消費することのよさについて、消費者の視点から2つ書きなさい。

☆食料問題 2015年 沖縄県立与勝緑が丘中学校

次のグラフは、日本の主な食料の自給率を示したものである。グラフのア～エは米、野菜、魚・貝類、大豆のいずれかである。大豆に当てはまるグラフをア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。



解答

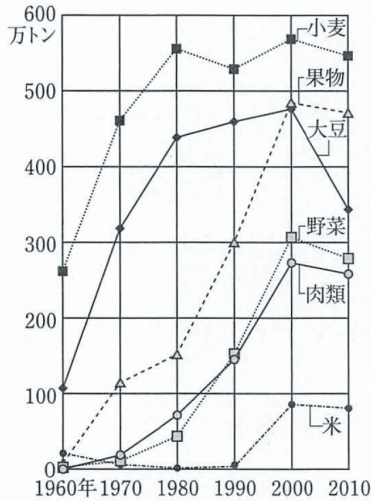
☆食料問題 2014年 青森県立三本木高等学校附属中学校①

ともこさんたちは、輸入している食料品について話し合っています。

ともこ：この前スーパーに行ったら、輸入している食料品がたくさんあってびっくりしたわ。食料品の輸入量って増えているのかしら。

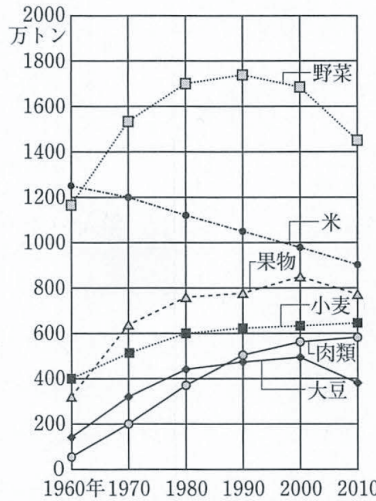
たろう：関係がありそうな資料を見つけたよ。小麦、果物、大豆、野菜、肉類、米の六つの食料品についてまとめてあるグラフなんだ。資料1、資料2、資料3だよ。

資料1 食料品別輸入量の変化



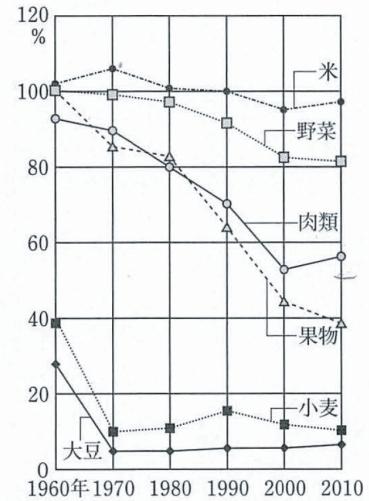
【農林水産省調べ】

資料2 食料品別消費量の変化



【農林水産省調べ】

資料3 食料品別自給率の変化



【農林水産省調べ】

(1) ともこさんたちは、資料1～資料3を見て、わかったことを話し合っています。

次の会話文を読んで、①～⑥にあてはまる食料品名を書きましょう。

たけし：①と②の消費量は、2000年から2010年までの間に、少し増えているね。

ともこ：②と③の輸入量の増え方は、どちらも、1960年から1970年までの間が、一番大きいわ。

たろう：①と④と⑤は、どれも2010年の自給率が50%をこえているね。

さちこ：④と⑥の自給率は下がり続けているのね。それに、④の2010年の輸入量は、30年前の約5倍になっているわ。

たろう：1960年に比べると、食料品の輸入量はずいぶん増えているんだね。

ともこ：外国が食料不足になれば、輸入がストップすることだってあるかもしれないわ。食料品を輸入することでの問題ってほかにはないのかしら。

さちこ：食料品の輸入についてフードマイレージという考え方があるそうよ。それについての資料が資料4と5よ。フードマイレージが大きくなると、地球環境にあたえるえいきょうも大きくなるんですって。

たけし：日本のフードマイレージは、他の国に比べてとても大きいんだね。これは、たくさんの食料品を輸入しているからなんだろうね。

(2) 日本のフードマイレージが大きい理由として、たけしさんが話していること以外にどのようなことが考えられますか。

また、フードマイレージが大きくなることで地球環境にあたえるえいきょうも大きくなるのはどうしてだと考えられますか。

[日本のフードマイレージが大きい理由], [フードマイレージが大きくなることで地球環境にあたえるえいきょうも大きくなる理由]について、資料4をもとに考えられることを書きましょう。

資料4 フードマイレージの求め方

フードマイレージとは
 $(\text{食料品の重さ}) \times (\text{輸送きょり})$
 で求められる数で、
 「トン・キロメートル」という
 単位を用いる。

【農林水産省資料より作成】

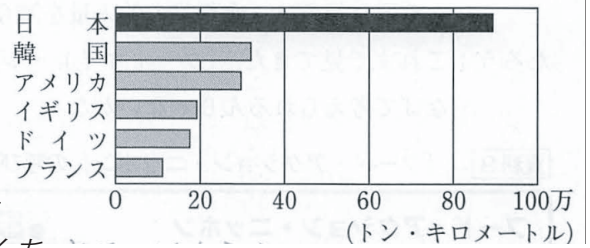
☆食料問題 2014年 青森県立三本木高等学校附属中学校②

ともこ：地球環境を守るということからも、輸入にたよらないようにしていくことは大切なね。

さちこ：輸入にたよらないという意味では、最近の肉類の自給率は高くなってきているわね。

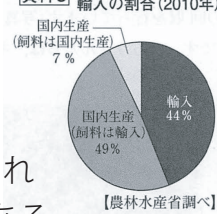
たろう：でも問題があるんだ。肉類の輸入の割合について、資料6を見つけたんだ。これを見ると、肉類の半分以上は国内生産だけど、えさになる飼料は、その多くを輸入しているということがわかるよ。

資料5 各国のフードマイレージ



さちこ：国内生産の飼料で育てているのは、全体の7%しかないのね。飼料を輸入にたよらないようにするために、何かよい方法はないのかしら。

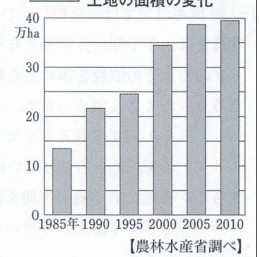
資料6 肉類の国内生産と輸入の割合(2010年)



資料7 飼料用の米をつくる水田



資料8 耕作されなくなった土地の面積の変化



ともこ：国内で飼料用の米をつくるために、耕作されなくなった水田を利用しているところがあるんだって。資料7が、その水田の写真よ。

たけし：ぼくは、耕作されなくなった田や畑の面積について、資料8を見つけたよ。

資料6, 資料7, 資料8をあわせて考えると、飼料用の米をつくる取り組みは、一石二鳥のとてもよい取り組みだと言えるんじゃないかな。

(3) たけしさんは「飼料用の米をつくる取り組みは、一石二鳥のとてもよい取り組みだと言える」と話しています。それは、どのようなことでしょうか。書きましょう。

たろう：農家の人たちは、工夫して取り組んでいるということがわかったよ。

ともこ：食料品を、少しでも輸入にたよらなくてもいいようにするために、わたしたちにできることはないかしら。

たけし：日本の政府と民間の会社、農家が協力している「フード・アクション・ニッポン」という取り組みをインターネットで見つけたよ。資料9のように、ぼくたちでもできることを呼びかけているんだ。

資料9 「フード・アクション・ニッポン」の呼びかけ

フード・アクション・ニッポン
自給率をアップさせる 5つのアクション

- 1 「いまが旬」の食べ物を食べよう
- 2 地元でとれた新鮮な食べものを食べて、国産の食べものを応援しよう
- 3 ごはんを中心に、野菜たっぷりのバランスのよい食事をしよう
- 4 残さず食べて、食べ残しを減らそう
- 5 国産の食べものにもっと興味を持ってみよう

資料10 日本の米粉でつくっためんやパン



さちこ：わたしは、「フード・アクション・ニッポン」のホームページで、日本の米粉でつくっためんやパンを見つけたわ。資料10よ。日本の米粉でつくっためんやパンを食べるとい

う取り組みは、食料品の輸入量を減らすことにつながると思うわ。

たろう：これまで見てきた「フードマイレージ」や「耕作されなくなった土地の利用」ともつなげて考えられるんじゃないかな。

(4) さちこさんは「日本の米粉でつくっためんやパンを食べるとい取り組みは、食料品の輸入量を減らすことにつながる」と話しています。それは、どうしてでしょうか。また、そのことは、「フードマイレージ」や「耕作されなくなった土地の利用」と、どのようにつながっているのでしょうか。あなたの考えを書きましょう。

日曜日、あきらさんと二人のいとこ、おばあさんの四人は、アメリカから帰ってくるいずみおばさんをむかえに空港へ向かいました。帰りの列車の中で、おばさんは住んでいた町の写真を見せてくれました。

おばさん：私が住んでいた場所の近くでは、米をさいばいしていたのよ。

あきら：とても広い所で米をさいばいしているんだね。でも、アメリカ産の米って、日本ではあまり見かけないね。

おばさん：確かに、お店などではあまり見かけないわね。

あきら：どうしてなの。

おばさん：日本は、自分の国で食べる米を自分の国で、作っているからよ。

日本の米の食料自給率は、ほぼ100%なのよ。

あきら：食料自給率ってなに。

おばさん：その国で消費される食料が、自分の国でどのくらい作られているかを示す割合のことよ。

例えば、食料自給率60%の場合は、その食料の60%は自分の国で作られ、40%は輸入していることを表すのよ。

あきら：他の国の食料自給率はどうなっているの。

おばさん：それは、この表を見ると分かるわよ。

〈表1〉 諸外国の品目別食料自給率 (単位：%)

	年	穀類(※1)	豆類(※2)	果実類	肉類	魚介類	砂糖類
アメリカ	2009	125	175	72	112	66	69
カナダ	2009	180	290	17	133	109	7
フランス	2009	174	80	62	100	35	173
オーストラリア	2009	241	183	88	160	32	103
日本	2011	28	9	38	54	61	26

※1 穀類には、米・小麦・大麦・とうもろこしをふくむ。

※2 豆類には、大豆をふくむ。

(農林水産省「食料需給表」より作成)

〈表2〉 アメリカで輸出・輸入が多い食品

輸出が多い食品	輸入が多い食品
米・小麦・大麦・とうもろこし・大豆・肉	バナナ・魚介類・砂糖

(データブック・オブ・ザ・ワールド2009より作成)

[問題] 「(表1)諸外国の品目別食料自給率」

と「(表2)アメリカで輸出・輸入が多い食品」を参考にして、カナダ・フランス・オーストラリアのうち1か国を選んで、その国の食料自給率から分かることを理由を示して書きなさい。

また、選んだ国と日本の食料自給率を比べて、日本の食料自給率についてどういうことが考えられるか、書きなさい。

解答

☆食料問題 2013年 茨城県共通

お父さん：エドワードさんたちが来たら、日本のおいしい食べ物をたくさん食べてほしいね。

さやか：日本食にもいろいろあるけれど、私が好きな天どんを食べてもらいたいな。

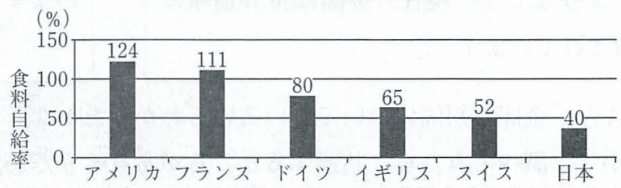
お父さん：ところで、天どんに使われている材料のえび、小麦、大豆、米はどこで生産されているか知っているかな。

さやか：どこかしら。

お父さん：日本の食料生産についての資料があるから見てごらん。

問題 日本の食料生産について、資料2と資料3から読み取れることをもとに書きなさい。また、それをふまえて、これからの日本の食料生産について、自分の考えを書きなさい。

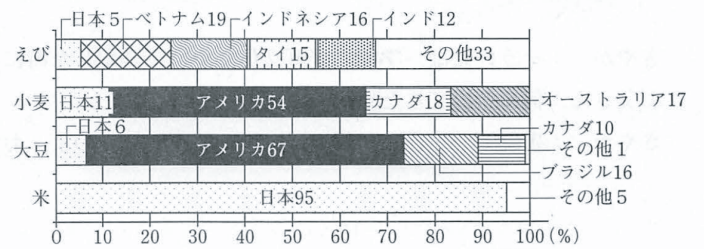
資料2 日本と外国の食料自給率(カロリーベース)



(農林水産省「こども農林水産白書」2010年より作成)

※食料自給率(カロリーベース)…カロリーで計算した食料自給率

資料3 日本で消費しているえび、小麦、大豆、米の原産国



数字は、日本で消費している食品の重さにしめる割合を示している。

(農林水産省「こども農林水産白書」2010年より作成)

※原産国…品物を生産した国のこと。

解答

☆食料問題 2013年 千葉県立千葉中学校①

よきさんの学級では、総合的な学習の時間で「わたしたちの食生活」について考えることになりました。あとの問いに答えなさい。

給食だよりに食材の「自給率」の説明があったことを思い出したよきさんは、インターネットで「料理自給率計算ソフト」というものを見つけました。それは、料理に使う材料を入力すると、その料理の自給率を計算してくれるパソコンソフトです。よきさんが自分の好きなカレーライスと天ぷらうどんをこのソフトで調べてみると、次の資料1のような結果になりました。よきさんは、さらに食生活と自給率について調べて次の資料2を見つけ、これらの資料をもとに班で話し合いをしました。

資料1 料理1人分の自給率を計算した結果

品名	カレーライス		天ぷらうどん	
主な材料と1人分の材料の量	白米ごはん	200 g	うどん(ゆで)	250 g
	たまねぎ	80 g	えび	60 g
	ぶた肉	80 g	小麦粉(天ぷら用)	12 g
	じゃがいも	50 g	たまご(天ぷら用)	8 g
	にんじん	20 g	なたね油	6 g
料理1人分のカロリー※1	621 kcal		424 kcal	
料理1人分のカロリーのうち 国産分のカロリー	397 kcal		45 kcal	
料理1人分の カロリーベース自給率※2	64 %		11 %	

※1 カロリー：食料がどのくらいのエネルギーになるかを示す数字で、「kcal(キロカロリー)」の単位で表される。

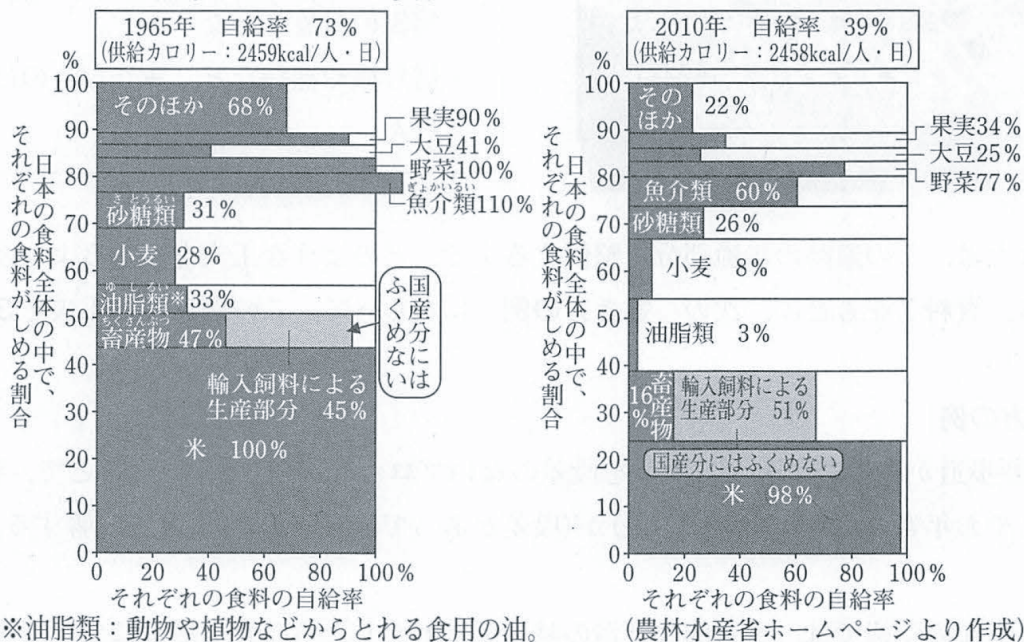
※2 カロリーベース自給率：カロリーで考えた場合に、食料の中で国産分がどのくらいの割合になるかを示す数字。日本の食料全体のカロリーベース自給率は、

$$\frac{1人1日あたりの「国産供給カロリー(販売用に国内で作られている食料のカロリー)」}{1人1日あたりの「供給カロリー(国内で販売されている食料のカロリー)」} \times 100$$
 というように計算する。

自給率には、ほかにも販売の金額をもとに考える「生産額ベース自給率」などがあるが、この適性検査では、「自給率」はすべて「カロリーベース自給率」を指す。

(農林水産省提供「料理自給率計算ソフト」により作成。ただし、カレーやうどんのだけは省いて計算した。)

資料2 自給率のうちのわけの変化



☆食料問題に関する問題 2013年 千葉県立千葉中学校②

よしき：天ぷらうどんは和食だからカレーライスより天ぷらうどんのほうが自給率が高いと思っていたのだけれど、ちがうだね。

さよこ：資料2を見ると、黒いところが日本の圏内で作っている部分で、昔は自給率が高かったのね。資料1と資料2を合わせて考えると、天ぷらうどんの自給率がとても低い理由がわかるわ。うどんは、小麦粉から作るのよね。

あきら：資料2で畜産物の灰色の部分は、国内で育った家畜だけれども、輸入のえさで育てたので自給しているとは言えないんだね。家畜のえさはトウモロコシや小麦などの穀物で、最近では、国内で飼料用の米の生産も始まったそうだよ。

ひろみ：資料2の2つのグラフを比べると、たて軸の割合の変化から、食生活の変化がわかるわ。そのことが、自給率が下がったことに関係ありそうね。

- (1) 資料1のように、天ぷらうどんの自給率が低いのはなぜですか。資料1と資料2をもとに考えて書きなさい。
- (2) 日本人の食生活の変化と、自給率が下がったことには、どのような関係があると考えられますか。資料2をもとに考えて、具体的に説明しなさい。

解答

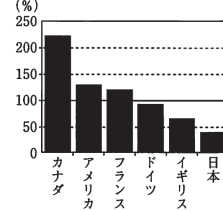
さくらさんは、社会科の自由研究で日本の食料事情について調べ、次のような資料にまとめました。

【資料①】は世界の主な国の食料自給率、

【資料②】は日本の主な食品の自給率、【資料③】は日本の米の生産量の変化、【資料④】は日本の主な食品の消費量の変化を表したものです。これらを見て、次の問1～3に答えなさい。

【資料①】

世界の主な国の食料自給率



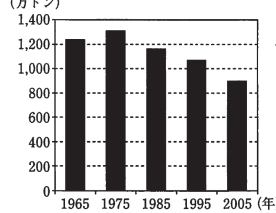
【資料②】

日本の主な食品の自給率

食品名	自給率	食品名	自給率
米	97%	野菜	81%
じゃがいも	71%	魚	62%
果物	38%	小麦	9%
大豆	6%		

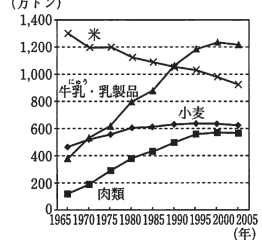
【資料③】

日本の米の生産量の変化



【資料④】

日本の主な食品の消費量の変化



*食料自給率…国ごとに食べている食料のうち、国内で生産されている割合のこと。

(備考)資料については農林水産省ホームページより作成。資料①は2009年、資料②は2010年の統計。

- 問1 【資料①】と【資料②】から、日本の食料事情についてわかることを、【資料①】と【資料②】とを関連づけて30字以上50字以内で書きなさい。
- 問2 【資料③】と【資料④】から、日本の食料事情についてわかることを、【資料③】と【資料④】とを関連づけて30字以上50字以内で書きなさい。
- 問3 さくらさんは、日本の食料事情について、さらによくわしく調べてみました。すると、日本では年間約1,900万トンの食料が捨てられており、そのうち、まだ食べられるのに捨てられてしまうものが、500万トンから900万トンもあることがわかりました。あなたなら、捨てられる食料を減らすためにどのような工夫をしますか。また、そう考えた理由も書きなさい。

解答

日本一わかりやすい解答・解説は コチラ です。
 中高一貫校の受検を考えている親御さんは是非！

☆食料問題に関する問題 2012年 長崎県共通

ななこさんと弟のあきらさんは、昼食の後に家族で話をしています。
 ななこ「さっき食べた卵サンドイツチは、とてもおいしかったね。」
 お父さん「パンの原料である小麦の自給率は、日本は低いんだよ。」
 ななこ「知っているよ。日本は外国から小麦を多く輸入しているのよね。」
 お母さん「そうよ。アメリカやカナダなどから輸入しているのよ。」
 ななこ「でも、学校では、小麦を世界で一番多く生産している国は中国だと習ったわよ。」
 お母さん「生産量が世界で一番多い国は中国だけど、輸出量は少ないのよ。」
 ななこ「それはなぜなの。」
 お母さん「それは、『 』からよ。」
 ななこ「なるほどね。」

問題1 『 』にはどのようなことばが入るでしょうか。表1～表3を参考にして、あなたの考えを書きなさい。

	国名	生産量(万t)
1位	中国	11246
2位	インド	7857
3位	アメリカ	6802
世界全体の合計		68307

	国名	輸出量(万t)
1位	アメリカ	3009
2位	フランス	1629
3位	カナダ	1578
世界全体の合計		13113

	面積(万km ²)	人口(万人)
カナダ	999	3326
アメリカ	963	31167
中国	960	133741
インド	329	118141
フランス	55	6204
日本	38	12769
世界全体の合計	13613	675006

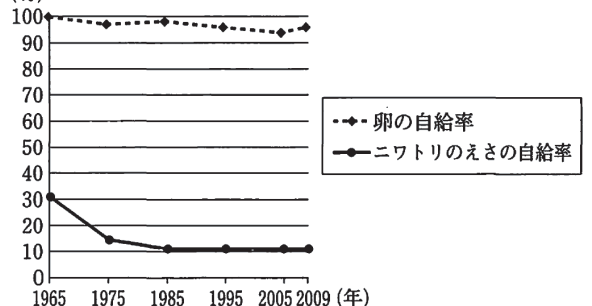
※表1～表3は『世界国勢図会』などをもとに作成しており、数値は2008年のものである。

あきら「サンドイツチに使われていた卵のことだけど、日本の卵の自給率は高いんだよね。」
 お父さん「よく知っているね。ところが、ニワトリのえさのことを考えると、日本の卵の自給率は必ずしも高いわけではないという見方もあるんだよ。」

あきら「どういうことなの。」
 お父さん「つまり、『 』から、卵の自給率が必ずしも高いわけではないという見方につながるんだ。」
 あきら「そうか。なるほどね。」

問題2 『 』にはどのようなことばが入るでしょうか。右のグラフを参考にして、あなたの考えを書きなさい。

グラフ 日本の卵の自給率とニワトリのえさの自給率 (%)



(「農林水産省食料需給表」をもとに作成)